



## 2019年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月9日

上場会社名 株式会社 アイフィスジャパン  
 コード番号 7833 URL <https://www.ifis.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大沢 和春  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 大澤 弘毅  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月13日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東  
 TEL 03-6825-1250

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	2,895	10.1	464	3.6	466	3.1	306	3.2
2018年12月期第2四半期	2,629	6.6	448	29.9	451	31.1	297	38.5

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 305百万円 (3.1%) 2018年12月期第2四半期 296百万円 (37.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	31.78	
2018年12月期第2四半期	30.80	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第2四半期	4,640	3,812	82.2	394.70
2018年12月期	4,511	3,584	79.5	371.10

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 3,812百万円 2018年12月期 3,584百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		8.00	8.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2019年8月9日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	4.6	870	4.4	870	3.8	574	4.5	59.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	10,242,000 株	2018年12月期	10,242,000 株
期末自己株式数	2019年12月期2Q	582,239 株	2018年12月期	582,239 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	9,659,761 株	2018年12月期2Q	9,659,763 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について)

当社では、2019年8月20日(火)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容(音声)については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の向上や雇用・所得環境の改善などにより緩やかな回復基調が継続しております。一方で、海外情勢では米中貿易摩擦の長期化や、海外経済の不確実性の高まりにより先行き不透明な状況が依然継続しております。当社事業と関連性が高い国内証券市場においては、年初日経平均株価が19,000円台まで落ち込む場面もありましたが、21,000円台まで回復して推移しました。また、投資信託市場においては純資産総額の増加傾向は鈍化しており、公募投資信託の本数も微減傾向が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、投資情報事業、ファンドディスクロージャー事業、ドキュメントソリューション事業、ITソリューション事業の全セグメントにおいて増収となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,895百万円(前年同期比265百万円増、10.1%増)、営業利益は464百万円(前年同期比16百万円増、3.6%増)となりました。また、経常利益は466百万円(前年同期比14百万円増、3.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は306百万円(前年同期比9百万円増、3.2%増)となりました。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、前年同期比較については変更後の区分方法に組み替えた数値で比較しております。詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

#### <投資情報事業>

機関投資家向けデータサービスやネット証券会社に提供している個人投資家向け銘柄分析ツールの機能追加などの開発案件の受注好調が継続するとともに、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュース『キャピタルアイ・ニュース』、株式会社金融データソリューションズの機関投資家向け業務支援アプリケーションなども堅調に推移しております。

その結果、売上高は696百万円(前年同期比20百万円増、3.1%増)、営業利益は315百万円(前年同期比29百万円増、10.4%増)となりました。

#### <ドキュメントソリューション事業>

証券・生命保険資料の印刷・配送、確定拠出年金関連サービス、連結子会社の株式会社東京ロジプロの物流サービス、株式会社アイコスの翻訳通訳サービスは業績が好調に推移しております。

その結果、売上高は988百万円(前年同期比149百万円増、17.9%増)、営業利益は121百万円(前年同期比36百万円増、42.7%増)となりました。

#### <ファンドディスクロージャー事業>

投資信託市場においては純資産総額の増加傾向の鈍化、公募投資信託の本数も微減傾向が続いておりますが、カテゴリ別でバランスファンドの資金流入超過は継続しております。これらの影響により当社における投資信託関連の印刷受注量は堅調に推移しております。

その結果、売上高は804百万円(前年同期比35百万円増、4.7%増)、営業利益は195百万円(前年同期比5百万円減、2.6%減)となりました。

#### <ITソリューション事業>

主力事業である事業会社向けの受託開発を行っているビジネスソリューションの受注は堅調に推移しておりますが、開発体制強化に伴う販売費及び一般管理費の増加、前第1四半期連結累計期間においてマイグレーションサービスの大型案件が計上されたことによる差分を埋めきれず、前年同期比では増収減益となっております。

その結果、売上高は405百万円(前年同期比60百万円増、17.7%増)、営業利益は10百万円(前年同期比38百万円減、78.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ129百万円増加し、4,640百万円となりました。

流動資産合計は169百万円増加し、3,910百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が179百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が16百万円減少したことによるものであります。

固定資産合計は40百万円減少し、730百万円となりました。主な要因は、のれんが償却により29百万円減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ98百万円減少し、828百万円となりました。

流動負債は99百万円減少し、704百万円となりました。主な要因は、未払法人税等が48百万円減少したことに加え、賞与引当金が21百万円減少、買掛金が19百万円減少したことによるものであります。固定負債は前連結会計年度末とほぼ同額の123百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ227百万円増加し、3,812百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益306百万円の計上による増加と、剰余金の配当77百万円による減少であります。

<キャッシュ・フローの状況の分析>

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ178百万円増加し、3,294百万円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とこれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、取得した資金は291百万円(前年同期は392百万円の取得)となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益466百万円、のれんの償却額29百万円、売上債権の減少額26百万円であります。また、支出の主な内訳は、賞与引当金の減少額21百万円、仕入債務の減少額20百万円、法人税等の支払額184百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は34百万円(前年同期は24百万円の支出)となりました。支出の主な内訳は、無形固定資産の取得による支出30百万円、有形固定資産の取得による支出5百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は77百万円(前年同期は67百万円の支出)となりました。支出は全額、配当金の支払いによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年2月8日公表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,127,500	3,307,068
受取手形及び売掛金	524,968	508,152
仕掛品	45,918	49,925
その他	42,562	45,641
流動資産合計	3,740,948	3,910,786
固定資産		
有形固定資産	60,435	58,465
無形固定資産		
のれん	343,422	314,361
ソフトウェア	75,972	90,955
ソフトウェア仮勘定	10,950	11,847
その他	1,469	1,469
無形固定資産合計	431,814	418,634
投資その他の資産	278,550	253,005
固定資産合計	770,799	730,105
資産合計	4,511,748	4,640,892
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	223,585	204,205
未払法人税等	194,598	145,735
賞与引当金	39,468	17,852
その他	346,507	336,461
流動負債合計	804,159	704,254
固定負債		
退職給付に係る負債	12,756	13,907
その他	110,074	109,982
固定負債合計	122,830	123,890
負債合計	926,989	828,144
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	382,510	382,510
資本剰余金	438,310	438,310
利益剰余金	2,834,368	3,064,074
自己株式	△77,929	△77,929
株主資本合計	3,577,258	3,806,964
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△366	△393
為替換算調整勘定	7,866	6,176
その他の包括利益累計額合計	7,500	5,783
純資産合計	3,584,758	3,812,747
負債純資産合計	4,511,748	4,640,892

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	2,629,216	2,895,144
売上原価	1,531,826	1,751,741
売上総利益	1,097,389	1,143,403
販売費及び一般管理費	648,617	678,477
営業利益	448,771	464,925
営業外収益		
受取利息	663	396
受取配当金	177	163
持分法による投資利益	1,514	1,488
助成金収入	1,500	—
その他	453	775
営業外収益合計	4,308	2,823
営業外費用		
為替差損	1,091	1,719
その他	8	7
営業外費用合計	1,099	1,726
経常利益	451,980	466,023
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	451,980	466,023
法人税、住民税及び事業税	151,601	136,281
法人税等調整額	2,906	22,757
法人税等合計	154,507	159,039
四半期純利益	297,472	306,983
親会社株主に帰属する四半期純利益	297,472	306,983

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	297,472	306,983
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△136	△27
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,171	△1,689
その他の包括利益合計	△1,308	△1,716
四半期包括利益	296,164	305,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	296,164	305,266



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	451,980	466,023
減価償却費	27,362	24,088
のれん償却額	29,206	29,060
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△372	△21,615
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	△4,460
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△4,960	1,151
受取利息及び受取配当金	△840	△559
持分法による投資損益 (△は益)	△1,514	△1,488
売上債権の増減額 (△は増加)	107,202	26,886
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△96,431	△4,007
仕入債務の増減額 (△は減少)	△19,696	△20,460
未払又は未収消費税等の増減額	3,913	△9,389
その他	△23,960	△10,275
小計	471,888	474,953
利息及び配当金の受取額	1,490	750
法人税等の支払額	△100,949	△184,681
法人税等の還付額	20,184	—
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>392,613</b>	<b>291,022</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,001	△5,004
無形固定資産の取得による支出	△17,681	△30,319
投資有価証券の償還による収入	83	45
保険積立金の解約による収入	—	1,102
貸付金の回収による収入	2,000	—
定期預金の預入による支出	△600	△600
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△24,200</b>	<b>△34,776</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△67,618	△77,278
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,618	△77,278
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>300,794</b>	<b>178,967</b>
現金及び現金同等物の期首残高	2,398,484	3,115,886
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,699,279	3,294,854

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメントソ リューション事業	ファンド ディスク ロージャー事業	ITソリ ューション事業				
売上高								
外部顧客への売上高	675,615	838,649	768,769	344,784	1,397	2,629,216	—	2,629,216
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7,446	—	24,734	—	32,181	△32,181	—
計	675,615	846,096	768,769	369,518	1,397	2,661,397	△32,181	2,629,216
セグメント利益又は損 失(△)	286,016	85,490	200,240	49,547	△1,742	619,552	△170,780	448,771

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△170,780千円には、セグメント間取引消去△267千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△170,513千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)3	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	投資情報 事業	ドキュメントソ リューション事業	ファンド ディスク ロージャー事業	ITソリ ューション事業				
売上高								
外部顧客への売上高	696,413	988,446	804,565	405,719	—	2,895,144	—	2,895,144
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,641	—	30,308	—	34,950	△34,950	—
計	696,413	993,088	804,565	436,028	—	2,930,094	△34,950	2,895,144
セグメント利益又は損 失(△)	315,655	121,970	195,061	10,593	—	643,281	△178,356	464,925

- (注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△178,356千円には、セグメント間取引消去△5,930千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△172,426千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
3. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データ化サービス等の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、より事業の実態に即した採算管理を行うため「ドキュメントソリューション事業」に含めていた事業法人向けIFIS IR Manager、IFIS Research Manager、IFIS Consensus Managerを「投資情報事業」に、「ファンドディスクロージャー事業」に含めていた確定拠出年金関連サービスと「ITソリューション事業」に含めていたタブレットソリューションを「ドキュメントソリューション事業」に移管しました。これに伴い、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当第2四半期連結累計期間の表示に合わせて組替再表示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。